

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R2.12.4	12:55	13:10	8.1	8.4	砂	10YR3/2	なし	0.60	>50		

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R2.12.4	12:55	7.5	0.7	2.4	12.6	7.0	0.04	0.8	9	3.4	N.D. (0.0013)	0.012	0.0013

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R2.12.4	13:10	7.5	341	17.1	1.8	3.4	2.691	24.7	26.9	26.6	12.3	5.7	3.8	0.89	27	27	550	0.22

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	R2.12.5	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0072	—	—	—	454	24	430	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	349	0.011	幼虫	—	—	52	N.D. (12)	52	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	384	0.026	幼虫	—	—	165.8	5.8	160	—
					節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ	152	0.014	幼虫	—	—	24	N.D. (4.5)	24	—
					節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ									
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒケナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	106	0.0099	幼虫	—	—	180	N.D. (12)	180	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	120	0.020	幼虫 (ヤゴ)	—	—	13	N.D. (3.6)	13	—
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サナエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	130	0.038	幼虫	—	—	14	N.D. (2.7)	14	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.020	成体	—	軟体部	13	N.D. (3.7)	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>	タナゴ	11	0.013	未成年魚/成魚	—	—	21	N.D. (7.1)	21	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	5	0.018	未成年魚/成魚	—	—	22	N.D. (3.7)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	両生	無尾	アマカエル	<i>Hyla japonica</i>	ニホンアマカエル	6	0.014	成体	—	—	11	N.D. (2.8)	11	—
脊椎動物	両生	無尾	ツチカエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチカエル														
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	—	70.1	3.1	67	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。